

考試科目	日文	系所別	法律學系	考試時間	2月8日(一)第3節
------	----	-----	------	------	------------

壹、請將以下法律規定翻譯成中文(每小題 10%，計 70%)

- 一、土地の投機的取引及び地価の高騰が国民生活に及ぼす弊害を除去し、かつ、正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、全国にわたり土地取引の規制に関する措置の強化が図られるべきものとし、その緊急性にかんがみ、土地取引の規制に関する措置が講じられるものとする。
- 二、厚生労働省令で定める実務の経験を有する者であつて、都道府県知事が厚生労働省令で定めるところにより行う試験に合格し、かつ、都道府県知事が厚生労働省令で定めるところにより行う研修の課程を修了したものは、厚生労働省令で定めるところにより、当該都道府県知事の登録を受けることができる。
- 三、裁判所は、相続人から補償の請求を受けた場合において、他に同順位の相続人があることを知つたときは、すみやかにその同順位の相続人に対し補償の請求のあつた旨を通知しなければならない。
- 四、利息の天引きをした場合において、天引額が債務者の受領額を元本として法律に規定する利率により計算した金額を超えるときは、その超過部分は、元本の支払に充てたものとみなす。
- 五、使用者は、前借金その他労働することを条件とする前貸の債権と賃金を相殺してはならない。  
使用者は、労働契約に附随して貯蓄の契約をさせ、又は貯蓄金を管理する契約をしてはならない。  
使用者の責に帰すべき事由による休業の場合においては、使用者は、休業期間中当該労働者に、その平均賃金の百分の六十以上の手当を支払わなければならない。
- 六、学校は、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときは所轄警察署と連携してこれに対処するものとし、当該学校に在籍する児童等の生命・身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは直ちに所轄警察署に通報し、適切に、援助を求めなければならない。

備

註

- 一、作答於試題上者，不予計分。
- 二、試題請隨卷繳交。

考試科目	日文	系所別	法律學系	考試時間	2 月 18 日 ( - ) 第 3 節
------	----	-----	------	------	----------------------

七、株式会社の成立の時にける現物出資財産等の価額が当該現物出資財産等について定款に記載され、又は記録された価額に著しく不足するときは、発起人及び設立時取締役は、当該株式会社に対し、連帯して、当該不足額を支払う義務を負う。

貳、請將以下各短文翻譯成中文

一、A は B に機械甲を 4 月 1 日を引渡期日として 100 万円で譲渡したが、予定していた海上輸送航路において、海賊行為等が頻発しているため、運送の予定が立たず、4 月 1 日に引渡しができるか不安定な状況である。B が A に代替輸送手段等の対処を求めたところ、特に履行期の重要性についての B から A への説明が不十分だったこともあって、対処に要する期間に関して A が B に伝えた見込み等も不正確となった。A は相当の費用もかけて、輸送手段の確保・調整に努力を継続したが、B は本件売買契約によって企図していた目的を達成しえなくなったとして、A からの代金請求を拒絶した。(15%)

※摘錄自民法(債權法)改正検討委員会編『詳解 債權法改正の基本方針 II 』(商事法務、2009 年) 354 頁。

二、生きるためには、今や情報は絶対に必要なんだという人が大半だ。実社会で仕事をしている人たちは、毎日毎瞬目まぐるしく変化する株式情報などを追いかけていないと、仕事にならないんだ。でも、だからと言って、仕事をするために生きているのか、生きるために仕事をするのか、何のために生きているのかという、人生にとっての最も大事なあの問いと、問いの答えとしてのその知識とは、少しも変化していない。ここではっきりと分かるだろう。情報は変化するものだけれども、知識というのは決して変化しないもの、大事なことについての知識というのは、時代や状況によっても絶対に変わらないものだという事だ。(15%)

※摘錄自池田晶子『14 歳からの哲学——考えるための教科書——』(トランスビュー、2003 年) 133-134 頁。

備 註

一、作答於試題上者，不予計分。  
二、試題請隨卷繳交。